

# 介護報酬改定後の動向（概要版）

平成19年3月



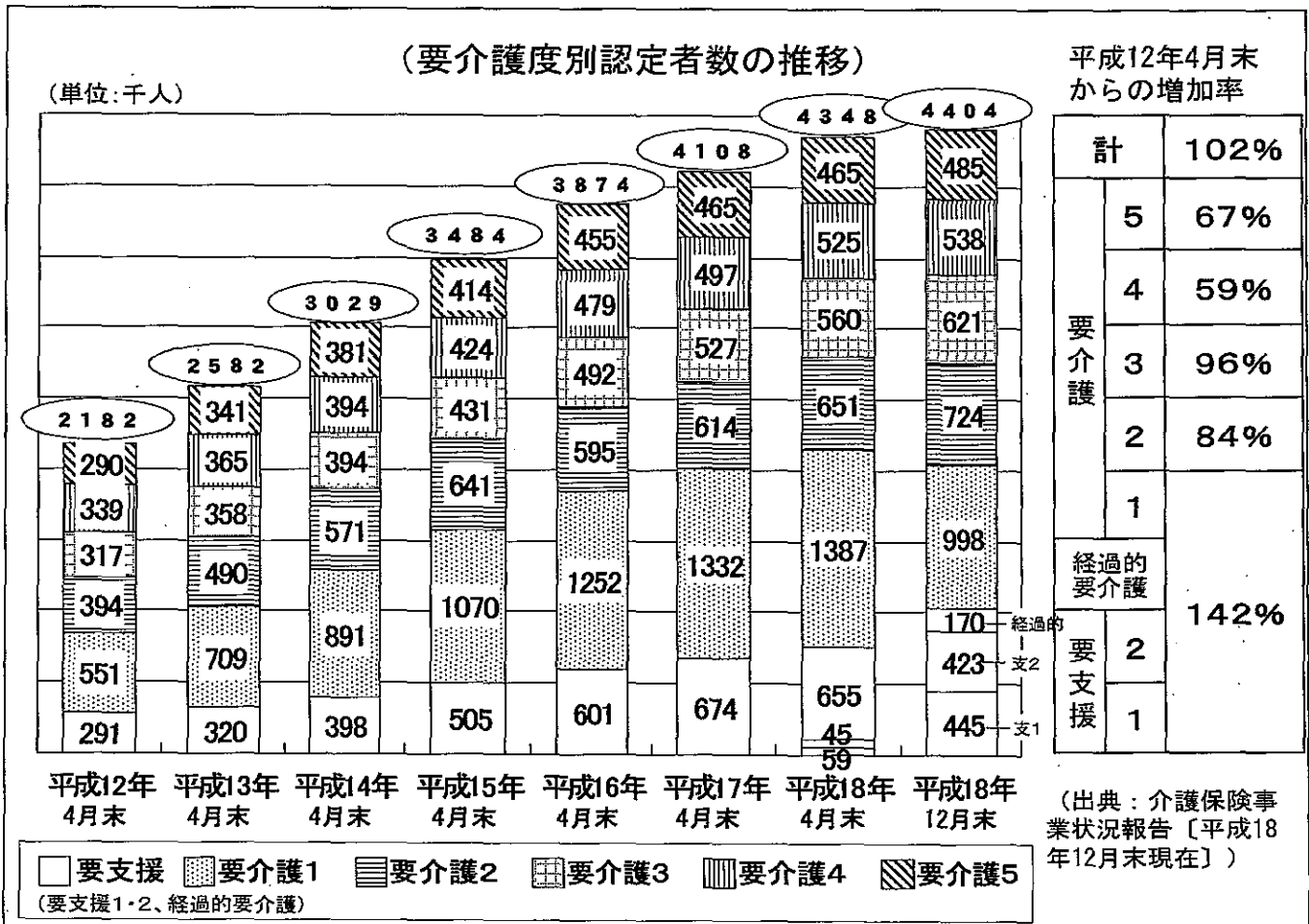
# I 介護保険制度の実施状況

## 1 第1号被保険者数の推移 (「介護報酬改定後の動向」2ページ参照)

- 第1号被保険者数は、平成12年4月末の2,165万人から、平成18年12月末には2,648万人に増加しており、毎年ほぼ3%の伸びで増加している。

## 2 要介護認定者数の推移 (「介護報酬改定後の動向」3ページ参照)

- 要介護認定者数は、年々増加し、制度発足時の218万人から、直近では440万人まで増加している。
- 要介護状態別に見た場合、要介護1と要支援の伸びが著しい。



### ※経過的要介護

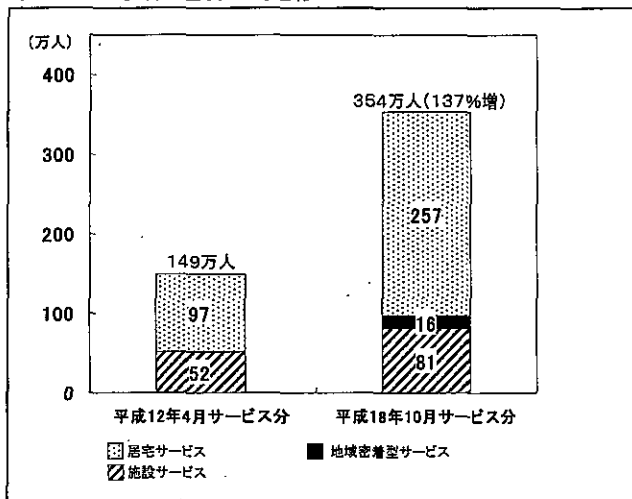
改正法施行時(平成18年4月)において、要支援認定を受けており、新要介護認定(更新認定等)を行っていない者。

### 3 サービス受給者数の推移（「介護報酬改定後の動向」4ページ参照）

- サービス受給者は、全体では年々増加し、制度発足時の149万人から、直近では354万人まで増加している。  
また、構成比をみると、約3/4が居宅サービス（※）受給者で占められている。

※ 居宅サービス、地域密着型サービスには、介護予防サービスを含む。以下同じ。

#### サービス受給者数の推移



(出典：介護保険事業状況報告)

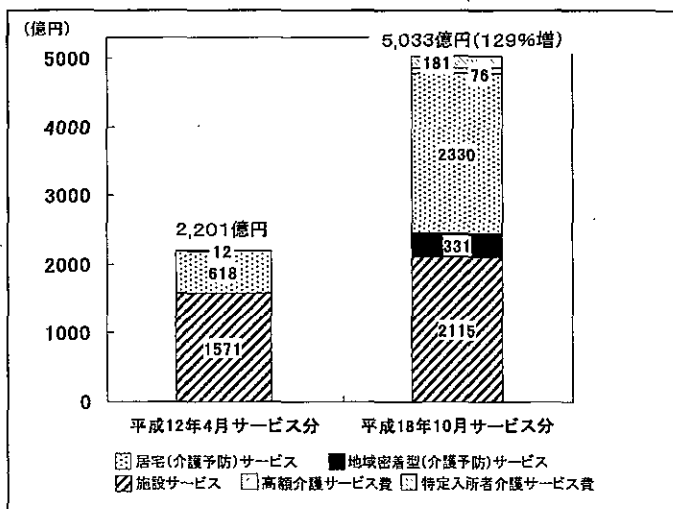
### 4 保険給付額の推移（「介護報酬改定後の動向」5ページ参照）

- 1月当たり保険給付額は、年々増加し、制度発足時の2,201億円から、直近では、5,033億円まで増加している。  
また、その構成比をみると、制度発足時には、施設サービスが居宅サービスを上回っていたが、平成18年4月から、居宅サービスが施設サービスを上回っている。

#### 介護給付費の推移

	平成12年4月	平成15年4月	平成18年4月	平成18年10月
居宅サービス	618億円	1,825億円	2,144億円	2,330億円
地域密着型サービス	—	—	283億円	331億円
施設サービス	1,571億円	2,140億円	1,985億円	2,115億円
高額介護サービス費	12億円	26億円	66億円	76億円
特定入所者介護サービス費	—	—	172億円	181億円
<b>合計</b>	<b>2,201億円</b>	<b>3,991億円</b>	<b>4,650億円</b>	<b>5,033億円</b>

(注) 12年4月の高額介護サービス費については、12年度の給付費を11で除した額を計上。



(出典：介護保険事業状況報告)